

平成 30 年春期 金沢東部地区推進連絡会

1 日時

平成 30 年 5 月 26 日（土） 16：00～17：00

2 場所

谷津坂会館

3 参加者 42 名

（地域側）自治会等地域団体関係 22 名

（支援チーム、その他行政側）

区役所 9 名

支援チーム 5 名

（橋梁関係）

道路局橋梁課 2 名

横浜国道事務所 2 名

橋梁施工業者 2 名

4 意見交換要旨

（1）開会の挨拶（青木 金沢東部地区連合町内会長）

第 4 期地域福祉保健計画市計画の素案が出来上がったが、それを踏まえて平成 30 年度はどのように進めていくのかを考えなければならない。リーダー会にて、検討が行われたため披露するとともに、地域の課題の解決を図っていききたい。

（2）区の挨拶（魚屋 副区長）

金沢区には、区地域福祉保健計画に基づいた地区別計画があり、地域の課題に対する解決策が地区別計画。

現在、金沢区では人口減少・高齢化率の増加等の課題があげられる。

市全体では、同様の課題に対し、中期 4 か年計画の策定が進んでいる。

より一層のチーム・区・区社協の連携を図ることが必要。

（3）自己紹介

区・支援チーム・地域、各自自己紹介。

（4）金沢東部地区 地区別計画の振り返りについて

（宮野 金沢東部地区社会福祉協議会長）

分科会の役割と昨年度の取り組みの一部を紹介。

・第一分科会

役割は、災害対策。

昨年度の取り組みは、要援護者名簿・防災だよりの作成。防災訓練。引き続き、取り組みを継続し、防災意識の向上を目指す。

・第二分科会

役割は、超高齢化を見据えた体制作り。

昨年度の取り組みは、メンズエクササイズの設定。

参加者の募集等に努め好評。運営が順調のため、今年度も継続予定。

・第三分科会

役割は、障がい者支援。

昨年度の取り組みは、金沢区障がい者地域自立支援協議会への参加。訪問等により、「当事者が望んでいることを知る」ことを目指す。

・第四分科会

役割は、子どもが安心して成長できる環境づくり。

取り組みは、放課後の居場所づくりや親子広場の拡充。

引き続き、取り組みの体制維持と拡充を目指す。

・第五分科会

役割は、地域の課題の解決。

取り組みは、配食サービス・在宅福祉サービス・人材バンク。

いずれもボランティアの高齢化による担い手不足が課題のため、対策を検討、実践していく。

(5) 行政からの情報提供

①「個性ある区づくり推進費」予算案等について。

(栗山 地域支援チームリーダー)

区づくり推進費予算案について説明。

(予算編成の考え方、推進費の説明、4つの事業などを説明。)

平成30年度 金沢区内市民活動に関する補助金の紹介。

(担当部署にご連絡いただくよう周知。)

②片吹歩道橋及びかたぶき人道橋の架換工事について

(道路局 小島補佐・国土交通省横浜国道事務所 百瀬様より)

架け換え工事の全容について、それぞれから説明。

架け換え工事時期の交通方法、作業方法等(歩道への影響、夜間通行止め、一時的に歩道橋が使用できない期間等)について説明。

(質疑応答)

・榎並 青少年指導員より

歩道橋は小学生の通学路でもある。

渡ることができなくなるについて、どうにかならないものか。

→ 道路局 小島補佐

新しい階段を設置する以上、古い階段を撤去しなければならない。

60m先に横断歩道があるため、そちらを通っていただきたい。

・長谷川 連合町内会事務局長より

警察官の配置等は検討していないのか。

→ 道路局 小島補佐

現時点で検討はしていない。

・榎並 青少年指導員より

通学路変えなければ…。期間はどの程度か。

→ 道路局 小島補佐

現時点では、検討中。

・長谷川 連合町内会事務局長より

現在、自転車が通行できる狭い道があるが、工事期間に自転車が通るのは危険。通れなくする等の対応が必要。

→ 道路局 小島補佐

資機材を置いたりもするため、県警に相談する。

(6) その他

「なでしこ」の発行について周知 (能見台地域ケアプラザ 人見所長より)

(7) 閉会の挨拶 (中村 金沢東部地区連合町内副会長)

「超高齢社会を見据えて 誰もが健康で安全・安心に暮らせる街を目指して」という金沢東部のキャッチフレーズの達成のため、若い人が地域に入るように、子や孫が金沢区に戻ってこられるように区・支援チームの力を借りて、地域が行動しなければならない。課題は多いが、力を合わせて解決していきたい。